

運用の王道を貫き、グランプリ常連に！ 現場と実現したSR安全運転の東北魂!!

株式会社 明送 様

- 所在地：茨城県守谷市百合ヶ丘1丁目2354-100
守谷営業所、東北営業所、埼玉営業所、土浦営業所（4拠点）
- 創立日：1967年7月1日
- 代表者：代表取締役 一ノ瀬 慶一
- 事業内容：輸送業務（主に乳製品、チルド・フローズン製品等の食品）

SR導入 SRConnect（通信型）約62台
SRAdvance 約58台
※ 2025年7月現在



東北営業所 常務取締役 兼
東北営業所所長
有路 正広 様



これが我が社のSR導入効果

保険料が15年連続割引率75%
燃料約800万円/年、タイヤ約150万円/年の削減

燃料代が削減、保険割引率75%を継続 明送が変わった!? と荷主様が驚いた！

当社は、SRグランプリ大型部門で連続1位をいただいておりますが、特別なことをやっているわけではありません。

SR以外の安全教育の取り組みとして、専門の外部講師を招き、安全運転や輸送品質向上のため講習会を年2回開催。アニバーサリー休暇や毎月の無事故報奨制度、年間優秀ドライバー制度などの種類豊富な福利厚生を設け、ドライバーの家族へのねぎらいも実施しています（写真1）。

2009年、荷主様側から運行状況を直接確認され、自社の整理・輸送について「荷物を預けて本当に大丈夫なの?」という強烈なクレームをいただきました。それに対し、スピード管理や運行状況の把握や改善を行っていた時に、SRお客様交流会でSRの存在を知り、導入に踏み切りました。

SR導入後の効果や影響は、「①燃費の向上」「②経費の節減」

- * アニバーサリー休暇
（希望日に休暇と1万円支給）
- * 無事故報奨制度
- * 奥様の誕生日にはカタログ
ギフトかお花を贈答
- * 年間優秀ドライバー表彰
（15名程度）

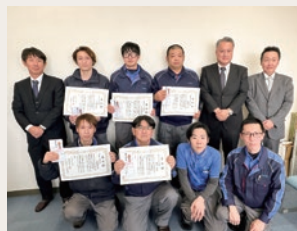


写真1 無事故の月にはお米5キロかギフト券を支給し、同時にポイントも獲得できる。ポイントを規定数ためると食事券1万円分を贈呈

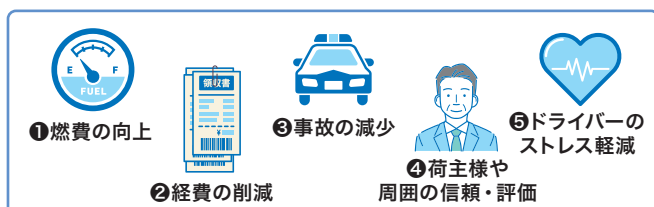
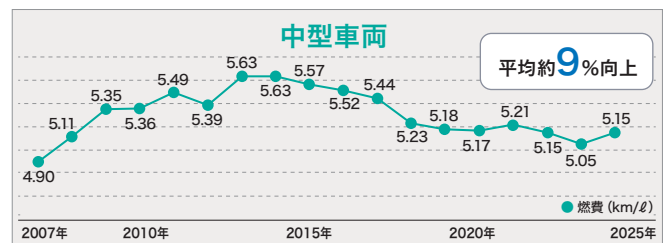
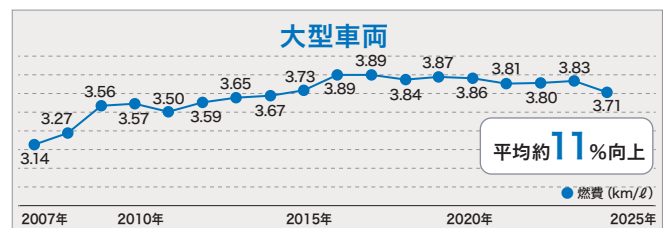


図1 SR導入後に社内外で顕著に現れた5つの効果や影響

「③事故の減少」「④荷主様や周囲の信頼や評価」「⑤ドライバーのストレス」の5点です（図1）。

①②では、2007年と比較して大型車両で約11%、中型車両で約9%、全体で約10%の改善効果が出ました（グラフ1）。燃費向上とともに、燃料代で70万円/月の削減と、タイヤの寿命が約30%も向上。SRでは急の付く運転をしなくなると高得点が出ますが、これにより冬タイヤの寿命が伸び、夏タイヤが不要になり、約150万円/年の経費削減となりました（図2）。

③により、保険料が2007年から15年連続で割引率75%継続を実現（グラフ2）。④では事故やトラブル減少で、前述の荷主様から「明送さん、変わったね!」という汚名返上の言葉とともに、売り上げも増加しました。また、地域の警察署から優秀安全運転事業所として表彰を受けました（写真2）。



グラフ1 大型車両と中型車両の燃費向上比較。大型車両は平均約11%向上(上)。中型車両の平均燃費がやや下がっているのは、荷主様の都合で積込時も冷凍機を使用しなければならなかったため(下)



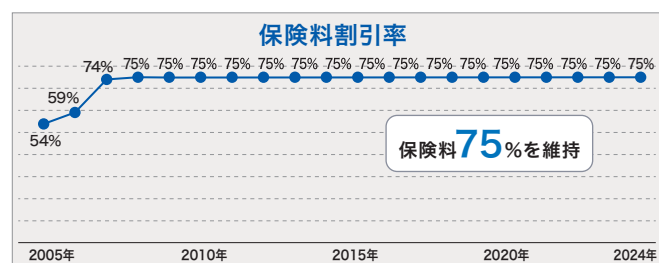
図2 東北営業所の大型車装着タイヤの走行距離は、約17～18万km/本と長く、冷凍・冷蔵車としてはタイヤメーカーも賞賛する距離とのこと(右)

事故やトラブルは、管理者の責任と捉え、 会社と現場のWin-Winの仕組みと環境作り

⑤は、速度抑制走行によって後続車からの煽りや強引な追い越し、車両を停止させ「遅く走るな!」と苦情を直接言われるなどトラブルが頻発。現場からの不満がストレスになり始めたので、会社の利益追求ではなく、ドライバーの安心安全を守るためと説得。するとドライバー側から「法定速度順守中の啓発ステッカーを作って欲しい」という自発性も生まれ、社内に安全運転意識が熟成されていきました(写真3)。

ゆっくり走行で到着時間の遅れが生じることもありますが、荷主様側が納品時間の遅れより安全運転を重視し、理解していただけたのも、SR導入成功の一因でもあります。

SR得点が低いドライバーにも自分のペースで改善できる仕組み作りを行い、叱らずやる気を削がない指導を心がけていま



グラフ2 車両台数から換算すると、保険等級が1等級下だと、保険料が約2,000万円/年も削減になる



写真2 地域の警察署から毎年表彰されるようになり(左)、3年連続で優秀事業者となって「プラチナ賞」を授与された(右)



写真3 月1回のドライバーミーティングで現場から自発的にステッカー制作を検討。現在は、ゆっくり走行自体が苦痛ではなくなり、渋滞が発生しそうな時は、車両を路肩に寄せ後続車を先行させるという社内ルールとなった

教えて、明送さん。SR導入Q&A

Q. 管理者からドライバーへの日々の点数評価や、安全運転指導のタイミングと共有方法を教えて!

A. 毎日の帰庫点呼時に評価について対話し、有益な情報は、月1回のドライバーミーティングで全員に共有・発信する。

Q. 現場とのコミュニケーションや指導の秘訣は?

A. ドライバーの運転技術が低い場合、特別な時間を設けて指導を行う。少し指導すれば改善するレベルの技量なら帰庫点呼時がベスト。日をまたぐとその日の運転を忘れるので、早いタイミングで指導する。

す。東北営業所のSR目標得点を大型車両で97点、中型で90点以上の平均点と定め、少し頑張ればクリアできるレベルにしました。具体的な取り組みは、データ・テックから提供される毎月のSR解析表をクラウド共有し、指導に活かします。管理者には、「叱らない」「褒める」「諦めない」などの指導の注意点を決めて、SR自体の知識と安全運転教育継続の重要性を説き、管理者が妥協せず、諦めずに安全運転教育にじっくり取り組むことを奨励しました(図3)。

高得点者には報奨金を支給し、賞与や年間表彰、給与・臨時報奨金の査定にもSR得点を反映。SRによって会社とドライバーがWin-Winの関係になる仕組み作りと、正しい評価や教育ができる環境づくりこそが、“SR導入成功の秘訣”です。

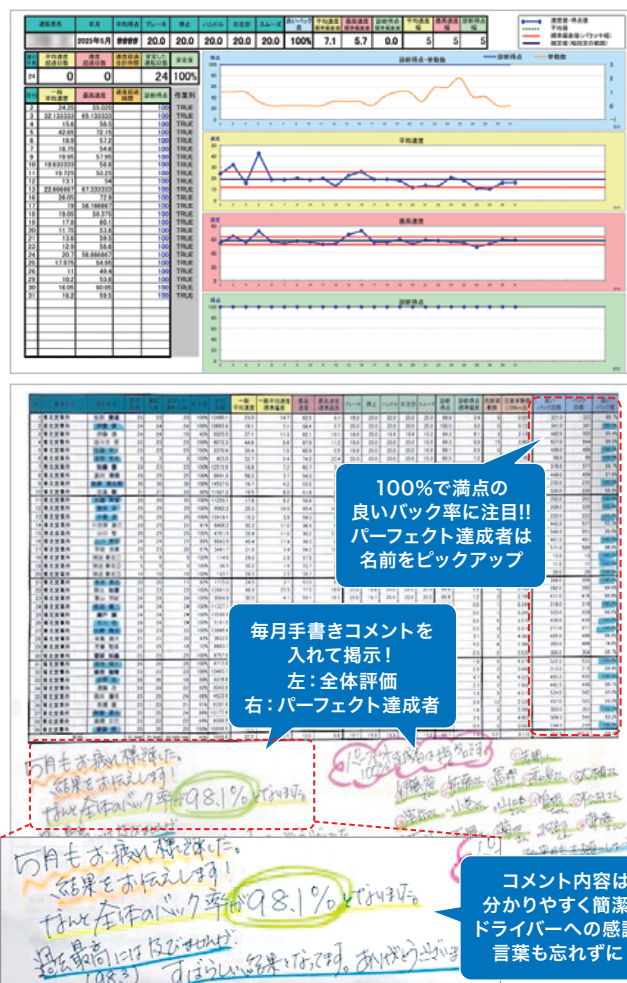


図3 解析表に減点箇所があれば、帰庫点呼時に指摘。東北営業所では、良いバック走行に注目し、バック率90%以上を目標としている。解析表の欄外には、ドライバーとの対話や奨励重視の手書きによる書き込みがびっしり。表は、社内ですべて見られる場所に設置している

Q. 何を指導しても反発するドライバーへの対処方法は?

A. 辛抱強く、時間をかけて対話を続けること。スピードを落とし、車間距離を取るのもすべて自分のためであり、優良ドライバーには、昇給・昇進があることを理解してもらう。

Q. 毎月の無事故報奨制度(米5キロ)は、今後も続けるの?

A. 米価格急騰の現在は、コスト的には正直辛道イ(笑)。ただし、ドライバーの運転技術が上がり、事故がなくなることは、会社や社会にとって大きなメリットがあるので、有効な福利厚生として“嬉しい悲鳴”をあげている。



SRで広がるお客様の輪

SRユーザー様とSR導入を検討されているお客様が、「ドライバーの指導方法」「輸送効率化 人材採用」「荷役・フォークリフトの安全管理」の3つのテーマでディスカッション。自社の課題や業界の問題点に対し、自社事例を元に意見交換を行った。

【グループ1】ドライバーの指導方法

SR得点と各社独自の指導を合わせ ドライバーの成長を促す指導を実施



●SRを用いた指導方法

- ・診断結果を元に、その日中にドライバーと振り返りを行う
- ・得点を社内に掲示。ドライバー間で得点比較が可能な環境をつくる
- ・得点が向上したドライバーはしっかりと褒め、伸び悩むドライバーには寛容な指導を行う。ドライバー目線を心掛ける
- ・全社で高得点をめざす風土を醸成。ベテランドライバーは高得点維持を目標とし、新人ドライバーもそれに習う社風を創り出す
- ・高得点のドライバーは違反やミスも少ないため、SRデータを指針とした指導を続け、全員の得点向上により組織力UPをめざす

●企業ごとの指導方法

- ・管理者とドライバーの意思疎通を図り、企業理念の浸透を促す。社員が同じ方向を向いて仕事に取り組み、指導への理解を深める
- ・追跡パトロールや抜き打ちの現場調査、違反の有無など、多角的に指導・評価する
- ・事故原因や経緯のヒアリング、KYTを実施。全社で情報共有し、事故の再発防止、削減につなげる

【グループ2】輸送効率化 人材採用

運送物流業界の2つの重要課題 従来方法からの脱却がカギ



●輸送効率化

- ・採算の合わない仕事は受けない。コストにしっかり転換した料金設定を行い、無理な要求には見積りで意思を示す
- ・フェリー輸送の併用を検討。ドライバーの休憩時間確保や長距離輸送のコストを下げる
- ・積み荷が少ない定期便は、集荷回数を減らし、複数回分を一括にまとめるよう荷主と交渉する



●人材採用

- ・「TikTok」「Instagram」などSNSを積極的に活用してターゲット層にアプローチ。待ちの採用活動から脱却する
- ・有料媒体では「Indeed」からの応募が多く、費用対効果がよい
- ・ドライバーの派遣サービスを利用し、自社に合う人材であれば社員として採用。採用活動の効率化が図れ、ミスマッチも防げる
- ・ホームページの放置は、信頼度や検索順位の低下につながるため、定期的な更新作業が必要
- ・定着率向上のため「福利厚生を手厚く」「積極的にコミュニケーションをとる」「規則やルールに縛られ過ぎず柔軟に対応する」など、働きやすい環境づくりを進める



【グループ3】荷役・フォークリフトの安全管理

オペレーターの成長と管理者のスキルアップ 二人三脚で安全の仕組みづくりから開始

- ・大きな問題として業界に安全確認の重要性が浸透していない。オペレーター教育など、安全意識への仕組みづくりが必要
- ・『SR ForkLift N』を活用。具体的な安全指導や運転傾向の気づきを与え、オペレーターに安全意識を徹底教育する
- ・ながら運転防止機能や警告用ブルーライトの装備など、フォークリフトの安全性能を高め、事故を防止する
- ・オペレーターの安全意識を高め、維持させるには、飽きさせない仕掛けや新しい機能の取り入れなど、管理側のスキルアップも課題





車両運行業務と事故の無い社会を築く SRのデータを利活用する事業が始動！

データ・テックは、モビリティデータを利活用する事業について「①新しい安全運転へのソリューション」「②安心安全な交通社会への貢献」の2つのコンセプトを発表した。

①では、13,000台超のSR搭載車両から収集するモビリティデータを地図上に可視化(図1)。「危険箇所の分析」「分析結果の安全運転指導へのフィードバック」「挙動発生地点のデータを元に安全で適切な配送ルートを導く」ことを狙う。

① 新しい安全運転へのソリューション



②では、お客様提供のSRデータを分析し、大手通信事業者と連携して、省庁や自治体、自動車メーカー、ガス、電気などの社会インフラと連携し、より安心安全な交通社会の実現をめざす(図2)。

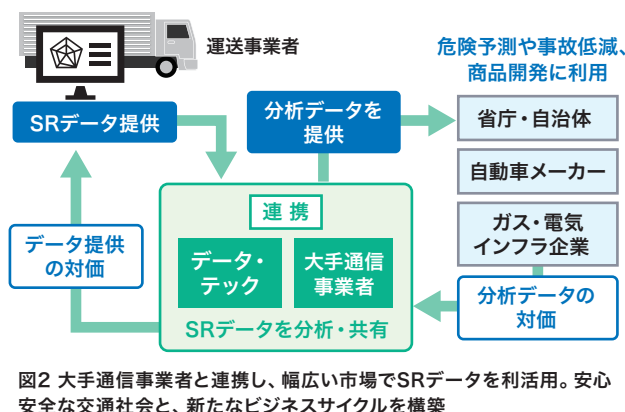
同社は、2025年度中の事業開始を予定している。

協業募集

本事業に協業いただける事業者様を募集しています。
ご興味いただけましたら、お気軽にお問い合わせください。

E-mail: toiawase@datatec.co.jp

② 安心安全な交通社会への貢献



アプリ版SR、SafetyRecが大幅刷新 視認性が向上し、操作性もUP！

iPhone対応SRアプリ『SafetyRec®』がフルリニューアルした(図3)。主な変更は次のとおり。

- ① ボタンのサイズや配置を変更し、視認性、操作性を向上
- ② より感覚的な操作ができるよう、画面の導線を改善
- ③ 気になる運転データはお気に入り登録可能
- ④ サブスク登録なしでも利用できる※

現在、「App Store」からダウンロード可能。

※一部機能制限あり



SafetyRec®のDLはコチラ

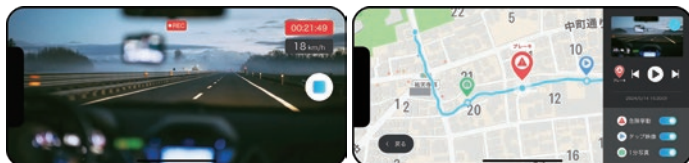


図3 危険運転を検知し、自動で記録するドライブレコーダー機能のほか、SRで培った安全運転診断やドライブログ機能を搭載



30分で課題解決！手軽に誰でも参加!! SRをフル活用したWebセミナー開催

事故や違反への取り組み、社員教育、業務のシステム化など、取り組むべき課題の多い物流業界。それらを解消し、スムーズかつ迅速な企業運営の一助になるよう、**月2回30分のWebセミナーを開催中**。
お問い合わせ、お申し込みは下記QRコードから。

● Webセミナースケジュール

開催日	時間	タイトル
8月7日(木)		簡単な取り組みで事故が減る！セーフティレコーダ活用事例紹介
8月20日(水)		SRフォークリフトによる事故防止の取り組み
9月3日(水)	14:00 ~ 14:30	モバイル端末で簡単にできる！安全・運行管理
9月17日(水)		これをやれば！バック事故がゼロになる！
10月1日(水)		セーフティレコーダ®を活用した運送DX

※内容は変更となる可能性があります

事前登録制

データ・テックのインスタが登場！ SR関連の最新情報をフォローアップ!!



Instagramを開設しました。SRの最新情報はもちろん、ユーザー企業様への訪問記、運送・物流業界に役立つ情報など、インスタならではの写真メインで紹介します。

第37回 SRお客様交流会

2026年 6月12日(金) 東京・大田区産業プラザPiO

その他、イベント、セミナーの詳細は、弊社ホームページにアクセス!!



◀ Webへ